



多文化が生む力を地域の未来へ 佐賀県の「多文化共生の地域づくり」の挑戦 市町・企業との連携から生まれる多文化理解

佐賀県地域交流部多文化共生さが推進課

多様性が育む地域力ー佐賀県の実践

佐賀県では、日本人も外国人も一人ひとりが同じ住民として、互いの価値観を尊重し、助け合える多文化共生社会の実現に向け、「多文化共生マインドの醸成」「安心して生活できる環境の整備」「誰もが活躍できる環境の整備」を基本指針として多岐にわたる取り組みを展開しています。この現場レポートでは、地域と職場をキーワードとした事例を紹介します。

協働の力でつなぐ地域と多文化社会 ～多文化共生タウンミーティング～ 企業と行政、教育機関が共創する 多文化交流

佐賀県では、2021年度から県と市町共催で「多文化共生タウンミーティング」を実施しています。この事業は、地域の現状や課題、多文化共生の今後の取り組みなどについて、多様な関係者の声を直接聞き、対話を通じて課題を解決することを目指しています。また、関係者がただ集まって話をするだけでなく、交流会やワークショップという場を設けることで「生きた対話」の創出を図っています。



タウンミーティングを通じて地域の人同士のつながりができ、心温まる対話がひろがりました（鹿島市）。

各市町で開催するタウンミーティングは、それぞれの特色があり、いずれも良い事例となっています。なかでも、太良町として初の多文化共生の試みとなった2023年度のタウンミーティングは、今後県内各地に広げたい取り組みの一つです。



交流を終え、みんなでハートのポーズを作って記念写真（太良町）。

太良町のタウンミーティングは町の発案で中学校の総合的な学習の時間を活用し開催することになりましたが、太良町に住む外国人の90%は技能実習や特定技能をはじめ就労を目的とする在留資格の外国人のため、平日の昼間の時間に企業の協力を得ることができず課題でした。しかし、町の担当課と県が企業を訪問して趣旨を説明したところ、「地域子どもたちのため、また、雇用している外国人が地域活動に参画することで、地域との信頼関係が深まり働きやすい環境を整えられるのではないかと協力をいただき実現することができました。



ミャンマー語を覚えてもらう中学生。初めて見たり、聞いたりする言語に質問が途切れません（太良町）。

当日は、参加する外国人の意見も反映してプログラムを構成したことで、活発に対話することができ、大いに盛り上がりました。また、タウンミーティングを通して外国人と日本人の顔の見える関係ができたことで、介護施設で働くミャンマーの参加者が中学生に町中で会うと「ミンガラバー！」とミャンマー語であいさつを受けるなど、その後の交流への発展も期待できる結果となりました。

国籍に関わらず、自身が住む地域において顔の見える関係ができれば、安心して生活ができるのではないのでしょうか。タウンミーティングをきっかけとして、地域での共助関係が構築されることを期待しています。

また、外国人を雇用する企業にとっても、タウンミーティングをはじめとする町の取り組みへの参画が、地域貢献の機会となるほか、外国人に選んでもらうための一助となると考えています。

協働の力でつなぐ職場と多文化社会 ～多様性を競争力に変える： 多文化共生とチームビルディング～

佐賀県では、外国人を雇用する企業に対しての取り組みも行っています。背景には外国人を雇用している企業から「文化の違いによるトラブル」や「コミュニケーション不足による仕事のミスが続いている」といった相談が増えたことがあります。そこで、日本人と外国籍の職員の2人体制で企業向けにオーダーメイドの研修プログラ

ムを企画・実施することとしました。研修は「異文化コミュニケーションや異文化接触への対応方法」「企業としてどのように体制を整えるべきか」という内容でワークショップなどを行い、外国人・日本人という枠を越え、同じ職場で働くチームとして企業の課題や問題解決に取り組むことを目的としています。

研修を実施した企業からは、「外国人と日本人の間のコミュニケーションだけではなく、先輩後輩のコミュニケーションも円滑になり、職場全体が明るくなった」「外国人を雇用したことの戸惑いが少しずつ解消され、職場の雰囲気や生産性向上につながり、多様な背景を持った人たちが働ける（働く）職場を考えていくことにつながった」など前向きな感想が多くありました。また、継続して複数回研修を実施している企業からは、「若い人も入社し、新たなプロジェクトに取り組めるようにもなった」と成果が上がっていることが報告されています。



社員全員で働きやすい職場とは何かを考えるワークショップを行い将来の職場の姿を考えました。(株)植松建設

おわりに

地方で働く外国人にとっては、地域も職場も日本社会や日本人と深く関わる場所です。そのため、多文化共生の地域づくりは地域と職場の取り組みを両輪で推進していく必要があると考えています。また、この取り組みを継続していくためには、県だけでなく、市町の行政や市民団体、企業、教育機関、住民とが協働することが求められます。

佐賀県では、2023年度に「多文化共生推進アクション」を策定し、県民一人ひとりが地域の構成員として多文化共生に関わっていくことが重要であることを示しています。一人ひとりが安心して暮らし、働き、生き生きと活躍できるよう環境を整え、佐賀県全体でさらなる共生社会の実現に向けて力を合わせて推進していきます。

Nankyu HOME 会社案内 事業概要 (株)ナンキユウの人たち

外国人技能実習生



株式会社ナンキユウでは、外国人技能実習生を積極的に受け入れています。技能実習生とのコミュニケーションを円滑にするため、日本人社員は、佐賀県国際課・佐賀県国際交流協会が実施している「やさしい日本語」の講座を受講しています。
「やさしい日本語」講座は、私たち日本人にとって学ぶことが多く、社内の人間関係にも良い影響を与えています。
ぜひ、佐賀県国際課が制作した動画をご覧ください。

県が実施する研修の効果を会社のホームページでも紹介していただきました。(株)ナンキユウ